

農用地利用意向調査について

令和5年6月から実施しておりました農用地利用意向調査につきましては、町内の農家1,955世帯を対象に調査したところ、1,593世帯から回答をいただき、約81.5%の回答率となりました。本調査についてご協力をいただき誠にありがとうございました。調査結果の一部を以下の通りご報告いたします。



◎農業経営主の年齢

年代	30代以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上
人数	26人	73人	228人	532人	556人	145人	28人
割合	1.6%	4.6%	14.3%	33.4%	34.9%	9.1%	1.8%

◎農業後継者はいますか

	いる	いない
人数	345人	1,218人
割合	21.7%	76.5%

◎10年後も農業をつづけたいですか

	はい	いいえ	すでに耕作していない
人数	635人	693人	265人
割合	39.9%	43.5%	16.6%

以上が調査結果の一部ですが、経営主の年齢が「60代」と「70代」で68.3%、さらに農業後継者については「いない」が76.5%と厳しい結果となりました。

那須町ではこの調査結果を基に、「地域の農地を将来にわたって誰が担っていくのか」「誰に・どのように農地を集積・集約化していくのか」など、地域の農業の方針についての話し合いを開催する予定です。

町内の地区ごとに開催する予定ですので、開催日程などは町ホームページや自治会回覧にてお知らせしております。

話し合いの開催に際しましては、ご参加・ご協力いただきますようお願いいたします。

編集後記

編集委員 人見浩

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお申し込み申し上げます。

さて、上記の調査では10年後の耕作者が激減するような結果となりました。私事ですが、商工会と観光協会の理事を務めた経験より観光商工業も後継者不足で同様の結果と察します。つまりは農家は農業で生計を立てるしか将来はありません。そこに一石を投じるため米農家有志の会を結成し11月22日に「お米マルシェ」を開催しました。多くの出店米農家から「はじめての経験で将来に光が見えた」「153等米のサンプル展示と手書きポスターで売上を伸ばした米農家後継者にも刺激を受けた」と熱く語っていただきました。自らが「できるかできないか」ではなく「やるかやらないか」ですね。

最後になりますが、本誌発行にあたりご協力を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。

編集委員長

人見 浩

編集委員

平山 貴典
渡辺 毅